

うひはたぶみ (初機踏)

H.A.M.A.木綿庵だより
第30号
2019(令和元)年6月26日
(編集発行 梅田正之 090-5042-7775)

東北、そして福島 — コットンプロジェクト —

海水に浸ってしまった田畑の塩分を、綿花栽培で取り除くことができる。— 稲作は塩分率0.2%を越えると生育しないのに対して、綿花は0.6%でも育ち、綿花を3回(年)栽培すれば、田畑の塩分率が0.6%から0.15%まで下がるほどの除塩効果が見込めるそうです。東日本大震災で被災した農地の再生に向けて、コットンプロジェクトが立ち上げられた理由はそこにあります(https://greenz.jp/2011/06/17/cotton_agri/参照)。

プロジェクトの発起人は大阪に本社がある(株)タビオの越智直正会長と、(株)大正紡績の取締役営業部長(立場はいずれも当時)の近藤健一氏です。農地の再生とともに被災された方々の生活支援も視野に入れたこの取り組みは、2011年の震災後わずか2ヶ月足らずのうちに農家、紡績、アパレルなどの服飾繊維産業全体を巻き込むプロジェクトとして始動し、震災の年の6月には初めての綿の種蒔きを行っています。これが「東北コットンプロジェクト」です。

「稲作地帯であった荒浜地区・名取地区は、東日本大震災により用水路・排水路や排水ポンプ等、稲作に必要な全てのインフラ(またはその一部)が破壊されたのに加え、津波が農地を浸水し土の塩分濃度が上がったため、現在、米の栽培ができなくなっています。一般的な塩害対策として、政府の支援のもと農地に真水を注入し代掻きを行い、土壌中の塩分を水に溶かして排水する作業が進行中ですが、荒浜地区・名取地区は排水施設が破壊されているため、この塩害対策も実施できないところがほとんどです。私たちはこのような被災農地の状況の中、震災復興、農業再生という目標に向かい、耐塩性の高い『コットン』を栽培し、農業を再開すること、さらには、仕事を失っていた農家の離農予防や雇用創出等を行いたいと考えています。すでに数件の被災農家がコットンの栽培へと動き出されています。また、多数のアパレル関連企業の皆様に、本業を通じて復興支援につながる本プロジェクトへ賛同していただき、コットンを使った製品の製造・販売活動へも動き始めています。」(東北コットンプロジェクト公式HP <http://www.tohokucotton.com/about/>より)

宮城県仙台平野を中心とする地域ではじまったこの取り組みは、翌年には放射能汚染の問題を抱える福島県いわき市でも始まりました。発起人は、NPO法人ザ・ピープル(代表・吉田恵美子)さんです。綿花は放射性セシウムの移行係数が0.0086と、他の作物(主な野菜類・果実類の平均=0.05未満)と比べて低い数値(2012年度)になっていることに着目。オーガニックコットン事業を展開する(株)avantiと連携し、復興支援とともに市民や子どもたちの「教育活動」にも重点を置いた取り組みとして震災翌年の2012年に始動しました。これが「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」です。

6月22日(土)に機会を得て福島県いわき市小名浜を訪ね、ザ・ピープルの代表吉田恵美子さんより直接お話をお伺いし、綿畑をご案内いただきました。



福島県いわき市の綿花栽培地

Monthly Data

【天理やまのべ木綿庵】(問い合わせ件数 令和元年5月24日～6月23日)
愛知県 1

【H.A.M.A.木綿庵】(令和元年5月24日～6月23日)

メールを含む各種相談件数 3、綿畑や作業場の見学を兼ねた事前申込済来庵者数 0名



《綿に親しむーワークショップー》天理大学附属天理参考館にて講師を担当

令和元年(2019)5月6日、11日。6月1日、15日の4回にわたって、「木綿の糸と布をつくりましょう」というテーマのもとに、ワークショップの講師を担当させていただきました。各自が手紡ぎした糸で、自作の織機(段ボール紙で製作)を用いて、簡単な布(コースター)を完成させることを目指しました。活動の様子は天理参考館の公式ブログ「布留川のほとりから」にアップされています。ご参加くださいましたみなさん、ほんとうにありがとうございました。



《綿の栽培記録 2019》ー平成31年(令和元年)度版 その5ー

今年は綿の栽培面積を増やした関係で、草刈りや支柱立ての段取りが遅れ気味です。そのため、綿苗の根元に雑草が茂り、それを取り除くのに苦労しました。そして、その際に綿の根を傷つけてしまったことが原因なのか、その後に立ち枯れる苗が目立ちました。立ち枯れと草抜きの因果関係ははっきりしませんが、今後の参考のために記録にとどめておきます。

6月26日現在、1号畑の和綿の背丈は約45cm(最も背が高い苗は65cm)。洋綿は約30cm(同40cm)。7号畑の緑綿の背丈は約55cm(同66cm)。

なお、6月25日に農薬を散布しました。例年用いているアディオソ乳剤(ペルメトリン乳剤。住友化学株式会社)と、エルサン乳剤(PAP乳剤。日産化学工業株式会社)混合の1,500倍希釈液です。写真は左：1号畑和の白綿、中：1号畑洋の白綿、右：1号畑の洋の白綿の立ち枯れの様子。いずれも6月26日。



【綿の加工の作業記録】 (梅田 1人の作業量)

- ・糸車を用いての糸紡ぎ量 5月24日～6月23日(作業実日数0日)
◇綿苗の手入れや畑の維持管理に時間を要し、この1ヶ月は早朝の糸紡ぎをお休みしました。

【研修等の記録】

- ・令和元年06月01日 天理参考館にてワークショップ「綿に親しむ」第3回、講師を担当
- ・令和元年06月02日 長谷川杼屋(京都市上京区五辻通)を訪問。杼を追加購入
- ・令和元年06月15日 天理参考館にてワークショップ「綿に親しむ」第4回、講師を担当
- ・令和元年06月16日 大阪日本民芸館「自然布ー草木で織りなすー」展(大阪・万博公園内)鑑賞
- ・令和元年06月16日 ひろいのぶこ氏講演会「布と日本人」聴講。大阪・国立民族学博物館にて
- ・令和元年06月21日 「丹後の藤布と相楽木綿」展見学。嶋臺ギャラリー(京都市中京区御池通)
- ・令和元年06月22日 NPO法人ザ・ピープルさんの綿畑を訪問、見学。福島県いわき市小名浜
- ・令和元年06月23日 講演会「ひきこもり支援に取り組んで10年」講師を担当。福島県いわき市平